

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			事業所は、宿題スペースと遊ぶスペースに区切り、活動に集中しやすいようにしている。サッカーはで試合のスペース・自主練スペースと十分活動できる広さがある。
	②	職員の配置数は適切であるか	5			常に利用人数に対して適切に管理されており、送迎や療育の際に漏れのないようにミーティングで確認している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		4	1	事業所内には段差があまりないようになっており、エレベーターも完備されている。トイレは、バリアフリー対応になっていない。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1		常に指導員同士がコミュニケーションを取る場があり、ミーティングも行っているが、全体で共有出来ていない時がある。その場合は、個別に共有している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	2		令和5年2月、保護者アンケートを実施。今後、業務改善に繋げる。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	2		令和5年3月ホームページにて公開。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4		業務提携を行っている放課後等デイサービスの代表者や職員による指導を通じて、業務改善を行っている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1		毎月、会社全体の理念研修、事例も踏まえた療育に関する研修を実施している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			ミーティングの際にカンファレンスを行い、一人一人についてしっかりと話し合いを実施している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1	1	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1		ミーティングを毎日行い、職員間で意見を共有出来る時間をつくっている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			固定化しないように、現状のレベルを見ながらメニューの見直しを定期的実施している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1		祝日・長期休暇に入る前に事前にミーティングを行い、子どもの支援に繋がる目標を設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			基本は集団活動を基本としているが、コミュニケーションが図れるようなメニュー・プログラムを組んでいる。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			毎日必ず打合せを行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		5		支援終了後の全体確認は送迎時間等の相違により、毎回の実施は難しいが、個別に話すことはできている。今後、時間を確保できるように努める。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			経過記録は、当日中に記録をとることを徹底している。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			カンファレンスを行い、対象児童について職員間で話し合う時間を作っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	1		ガイドラインの総則をきちんと守って適切に支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5			学校、保護者と連携を密に対応している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		2	3	医療的ケアが必要な児童の受け入れは、現時点ではないが、今後該当する場合は連絡体制を整備する。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		2	3	就学前の利用していた事業所等とは直接、情報共有を行っていないが、今後必要に応じて情報共有を図る。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		5		現段階では、該当児童がいない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		4	1	スクールカウンセラーとは連絡を取ったりするが、助言や研修の実施は現段階ではない。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	3	現段階では、コロナ禍の影響もあって、実施していない。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	3		管理者のみが参加している。今後、児童発達管理責任者の参加も検討する。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			送迎の際にしっかりと保護者の方と話をしている。気になることがあれば事業所に戻り、電話での対応が出来る。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			5	ペアレント・トレーニングは実施していないが、個別支援計画の更新時に保護者面談を実施している。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4	1	親子参加イベントの企画によって各家庭が集まる場は設けている。今後、父母の会の実施を検討する。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			5	定期的に会報等は発行出来ていないが、SNSを利用して発信している。行事予定は、事前にプリントを配布している。日々の活動の様子は、連絡帳にて保護者と共有している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	5			鍵付きキャビネットにて個人情報を保管している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			視覚情報を多くしたり、保護者にも支援内容が分かりやすいように写真や動画を送迎時等に情報伝達をしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			5	今後、検討していきたい。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	3		契約時に保護者へ説明はできているが、今後定期的に周知できるようにしていく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			年に2回事業所での避難訓練を実施。年1回職員全員が救命講習を受講している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	3		虐待に関する注意喚起については、指導員間で共有している。令和5年3月に職員研修を実施予定。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			契約書に記載済み。契約時に保護者へ身体拘束に関する対応について説明を実施している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2	1	アレルギー情報は、契約時に必ず確認し、保護者様に記載頂き、保管している。その情報をもとに職員間で共有して対応するよう徹底している。現段階では、飲食物はこちらから提供することはなく、全て持参頂く対応をしている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1	4		事例集の作成は出来ていないが、定期的にヒヤリハットの情報共有を行っている。今後、事例集の作成を行う。